



学校だより

令和8年4月30日
横浜市立権太坂小学校
5月号

学校教育目標: 友達が好き 自分が好き たくましく伸びる 権太坂の子

若葉のように しなやかに たくましく

校長 佐々木 和美

春から初夏へと季節が移り、若葉の色が日ごとに深まり、校庭や通学路にも生命力あふれる景色が広がっています。朝の澄んだ空気の中、坂道を上り下りしながら元気に登校してくる子どもたちの姿に、確かな歩みが始まっているのを感じます。権太坂小学校では、日々の学校生活の随所において、子どもたち一人ひとりの成長が見られています。

友達との考え方の違いや行き違い、小さなトラブルに直面することもあります。そうした場面で逃げるのではなく、自分の気持ちを伝え、相手の話を聞き、折り合いをつけようとする姿が少しずつ育ってきています。うまくいかない経験を重ねながらも前に進もうとする姿には、これからの時代を生きていくために必要な「しなやかさ」や「たくましさ」が確かに育まれているのを感じます。本校の学校教育目標である「友達が好き 自分が好き たくましく伸びる 権太坂の子」の姿が、日常の中に着実に表れてきています。

学年ごとの学習活動にも、この季節ならではの学びが広がっています。入学して間もない1年生は、校内のさまざまな場所を巡り、「学校は安心して過ごせる場所」であることを少しずつ実感しています。2年生は、これから育てる野菜について計画を立て、どんな世話が必要かを話し合っています。この経験を通して、命を育む喜びや責任感を学んでいきます。3年生は地域に目を向け、まちたんけんを行っています。自分たちが暮らすまちを実際に歩き、人や場所に出会うことで、教室だけでは得られない気付きや発見を重ねています。4年生は、ヘチマやツルレイシの種を植え、これからの成長に期待を膨らませています。自然の変化を身近に感じながら、継続して観察する力を養っています。5年生は天気の詳細に取り組み、空の様子や雲の動きに目を向けることで、日常と学習が結びつく面白さを味わっています。6年生は「わたしの大切な風景」をテーマに、権太坂小学校の中で気に入った場所の絵を描き、思い出や思いを表現する活動を通して、自分と学校とのつながりを改めて見つめ直しています。どの学年においても、今の季節だからこそできる学びが、子どもたちの心に豊かに積み重なっています。

先日の授業参観・懇談会には、多くの保護者の皆さまにご来校いただき、ありがとうございました。教室で学ぶ子どもたちを温かく見守ってくださる姿から、成長をともに喜び支えてくださっているお気持ちが伝わってきました。本校では、教職員一人ひとりが子どもたちの可能性を信じ、その力が発揮されるよう、関わりと支援を大切にしています。挑戦すること、失敗すること、その一つ一つが成長につながるよう、寄り添いながら見守っています。

学校は、地域の方々のご協力を得ながら、子どもを真ん中に、家庭とともに子どもの成長を支える場です。保護者の皆さまは「カスタマー（お客さま）」ではなく、子どもたちの育ちをともに支える大切なパートナーと考えています。学校やご家庭での子どもの様子や気付きを互いに共有していくことは、教育活動をより良くし、子どもが健やかに育つための大きな力となります。

5月には運動会も予定されています。仲間と力を合わせることで、思い通りにいかない経験に向き合うこと、そのすべてが子どもたちを一回り大きく成長させてくれると考えています。社会においてはさまざまな出来事が起こる時代ですが、子どもたちが自分と友達を大切にしながら、前を向いてたくましく歩んでいけるよう、今後も学校として全力で支えてまいります。

保護者の皆さま、地域の皆さま、今月もどうぞよろしくお願いたします。